

自衛隊神奈川地方協力本部

桐蔭横浜大学「業界研究セミナー」で自衛官・予備自衛官制度をPR

神奈川県地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 空尉）は、2月15日（木）、桐蔭横浜大学（横浜市青葉区）で開催された「業界研究セミナー」において募集ブースを設置し、訪れた大学生ら約20名に職業としての自衛官をPRした。

このセミナーには、24の企業・団体が参加しており、市ヶ尾募集案内所は、所長・近藤 一 空尉をはじめ、江澤広報官らが自衛隊の任務や災害派遣・国際貢献活動、陸海空自衛隊の位置づけなどの説明の他、幹部候補生・一般曹候補生などの自衛官採用試験について、訪れた大学生に様々な角度から熱く説明を行なっていた。

学生は「様々な任務があるんですね。初めて知りました」「採用試験も色々あることが分かりました」と話し、自衛隊へ興味を持った様子だった。

また、「予備自衛官補制度」の訓練内容や日程、手当などを聞いた学生は「時間がある学生時代に自衛隊を体験できるのは良いですね」「大学生の今だからこそ自衛隊で社会貢献ができる制度。やってみてみたい」と話していた。

市ヶ尾募集案内所は「大学生が自衛隊に興味を持ち、就職先として考えてもらえる良い機会となった。今後も大学と協力し、優秀な人材確保に向け努力していきたい」としている。



大学生たちに自衛隊をPRする
市ヶ尾募集案内所長近藤 一 空尉

「神奈川音楽まつり・入校入隊予定者激励会」入隊予定者代表の謝辞

神奈川県地方協力本部市ヶ尾募集案内所（所長 近藤 一 尉）は、2月25日（日）に開催された「神奈川自衛隊音楽まつり・入校入隊予定者激励会」（横須賀芸術劇場）で入隊入校予定者代表の松村 竜貴（まつむら りゅうき）さんを支援した。

松村さんは、一般幹部候補生（陸上）として入隊をひかえる早稲田大学の4年生で、卒業論文作成の多忙な時期にも関わらず、代表として激励会開催の謝辞を述べることを快く引き受けた。

当日は、早めに会場へ入りリハーサルに参加し、緊張した面持ちで最後の練習を行なった。担当広報官を見つけた松村さんは「緊張していますが、精一杯やります」と話し、会場に来てからはじめて笑顔をみせた。

本番がはじまり、神奈川県副知事や海上自衛隊横須賀地方総監、入隊入校予定者約250名を含んだ1,519名の前で謝辞を披露した。

大学院生として同大学に通っていた女性自衛官との出会いをきっかけに自衛隊に興味を持ち、自衛隊が社会から求められる存在であることに気づいた村松さんは、自衛官になることを志望。昨年東日本大震災の被災地を訪れ、被災者の自衛官への感謝の思いを聞いて実感したという。

最後に「新しい仲間と教育訓練に臨みます。お祝いと励ましを胸に、どんな逆境にも立ち向かい、熱い期待に応えられる立派な自衛官になれるよう努力したい」と述べると会場は、盛大な拍手で包まれた。

広報官と共に観客席から見守っていた両親は、写真や動画撮影をしながら、ご子息の声に耳を傾け、謝辞が終わると安堵の表情を浮かべていた。その後、海自横須賀音楽隊、高工校和太鼓部、米海軍第7艦隊軍楽隊などの演奏が行われ、閉演後、村松さんは「代表として感謝と決意を述べる機会を頂けたことは、本当に光栄です」と話し、晴れ晴れとした表情をみせていた。

市ヶ尾募集案内所は「ご両親とともに晴れ姿をみることできて感慨深かった。引き続き入校までの支えとなり、幹部候補生学校へ旅立つ姿を見届けたい」としている。



決意を述べる入校入隊予定者
代表の松村竜貴さん